

松ぼっくり

◆国松石材株式会社

発行所／国松石材株式会社

本社 福岡市博多区下呉服町8-35
 営業本部 粕屋郡志免町南里11-5
 TEL 092-957-3500/FAX 092-957-3505

呉服町
 キャラリー 福岡市博多区中呉服町6-1善導ビル1F
 TEL 092-291-2454/FAX 092-291-2456

墓石ガーデン 福岡市東区香椎472-3 (三日月山霊園下)
 TEL 092-672-7257/FAX 092-672-7258

工場 福岡市東区松田3-16-12
 TEL 092-629-1189/FAX 092-629-2043

ホームページ <http://www.kunimatu.com>

2005年 春号

宮地嶽神社

日本一のものを訪ねて、
宮地嶽神社へ行ってきました。



▲日本一の大注連縄

宮地嶽神社には、日本一が三つあります。まずは、拝殿前にどーんと掛けられた宮地嶽神社のシンボル「大注連縄」。その長さは一三・五メートル、最大直径二・五メートル、重さ五トン、使われている藁は田んぼ十一反分というまさに日本一の大注連縄です。

古くから、開運、商売繁昌の神様で知られる宮地嶽神社は、年間二百万人、お正月三が日だけでも九十万人という多くの参拝者が訪れます。九州はもとより、東京、関西、中国、四国などの各地から参拝する人が絶えません。

大注連縄は、昭和二十七年から、掛けられています。戦前から宮地嶽神社を信

仰されていた方々が、「戦後の日本を元気にしよう」という気持ちをかめ、始められたそうです。島根まで習いに行かれたそうですが、今では、全国から注連縄の作り方の問い合わせが宮地嶽神社にあるそうです。

大注連縄は、三年に一度掛け替えられます。今年はその年にあたり、十二月十七日(土曜日)に「大注連縄祭」が行われます。使われる藁は神社近くの御神田で作られています。今年は大注連縄に適しているといわれる「古代米」の藁が使われるそうです。大切に育てられた藁は、手で丹念に刈り取られます。

注連縄作りは、藁の準備も整った十一

月から始められます。数本の藁縄で作った芯に、てっぽうとよばれる特殊な形の藁を差込んだものを、薦(こも)あみで覆って大きな縄を作ります。これを二本より合わせたものが大注連縄です。大注連縄祭では、より合わせと掛け替えが行われます。大注連縄の取り付けは、以前は滑車を使った大掛かりな作業でしたが、今では、フォークリフト等の重機を使って取り付けられています。約三百人の氏子さんたちが出勤して練り上げる勇壮な大注連縄祭には、一般の方々も参加できます。

大きな注連縄も、元をたどれば一本の藁、一粒のお米から出来ています。その出来上がりまでには延べ人数で一万人もの人々が携わっているといわれています。そう考えながら拝殿にお参りすると、自然と感謝の思いが湧いてきました。



▲回廊には大注連縄ができるまでの様子が写真パネルで紹介されています。

二つめの日本一は「大太鼓」です。直径は二・二メートルあります。最近では、これよりも大きな太鼓が見られるようになりましたが、この大太鼓は、全て日本国内で調達された材料によって制作されています。鼓面の皮は、和牛の皮を太鼓用になめした一枚皮で、現在の国産和牛では入手できないサイズです。毎年、一月一日午前零時に打ち鳴らされ、その音は境内から数キロ離れた所にも響きます。

三つめは、重さ四五〇キロもある銅製の「大鈴」です。昭和三十五年頃までは、大注連縄とともに拝殿に飾られ、参拝者を驚かせていましたが、その重量のため取り外され、今日では鈴堂を建立し、大太鼓とともに奉安しています。



▲大鈴



▶大太鼓

宮地嶽神社のみどころ

境内奥には奥の宮八社（稻荷神社・濡髪大明神・万地蔵尊・淡島神社・薬師神社・七福神社・不動神社・三宝荒神）があり、「一社一社をお参りすれば、大願がかなう」といわれ、昔から多くの人が訪れています。

奥の宮八社のひとつ、不動神社は、全国でも第一級の大きさの横穴式古墳です。全長二十三メートル、一つの石が高さ幅とも五メートルという巨大な石で構成されています。この古墳は地下の正倉院といわれ、石室からは冠、馬具類、太刀類など数多くの宝物が出土し、うち十六点は国宝となっています。



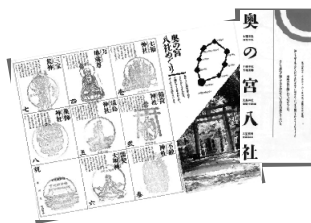
宮地嶽神社は花の神社でもあります。早春の訪れを告げる寒緋桜にはじまり、桜、えびね蘭、藤、つつじと次々に美しい花々が境内を彩ります。初夏には、九州では珍しい江戸菖蒲が咲きはじめます。その数、百種五万株。紫や白の鮮やかな花で私たちを楽しませてくれます。民家村自然広苑には、富山の合掌作り、対馬の高床式納屋など、伝統民家が移築、復元されています。どこか懐かしさを感じさせてくれる家々は、宮地嶽の自然に溶け込み、訪れる人にやすらぎを与えてくれます。

宮地嶽神社 長元祥泰様に取材にご協力いただきました。ありがとうございます。

黒米の御神酒

「古代」

全国でも、宮地嶽神社だけといわれる古代のお米「黒米」から作られた御神酒です。ほんのりと色づいた御神酒には、宮地嶽神社の歴史が刻まれています。



▲各社で参拝記念のスタンプがいただけます。

行事カレンダー

四月

●桜花まつり

四月一日～十日

●春季大祭

四月四日～六日

午前十時より

五月

●薬師神社大祭（薬草祭）

五月三日

午前十時より

●江戸菖蒲初刈り神事

五月三十一日

午前十時より

●菖蒲まつり

五月三十一日～六月十日

六月

●御田植祭

六月中旬

●水無月大祓式

六月三十日

午後五時より



宮地嶽神社

福岡県福津市宮司

電話 0940(52)0016

FAX 0940(52)1020

ホームページ

<http://www.miyajidake.or.jp>

祝儀と不祝儀袋の基礎知識

毎日の生活の中で、表書き、のし、水引の使用方法で迷ったことはありませんか。今回は、そんな時のために祝儀と不祝儀袋の基本的な知識をまとめてみました。

結婚式の祝儀袋には、のし、水引の両方がありますが、この、のし、水引にはどんな意味があるのでしょうか。

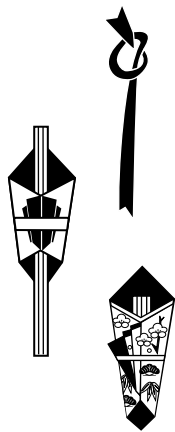
のし
 のしは、「のし鮑」の略で、慶事用の袋や、かけ紙の右上につけるものです。仏教では弔事に生ぐさものを断つことから、反対に慶事の贈答には生ぐさものをを用いるのがならわしとなり、携帯に便利とのことでのし鮑を添えるようになりました。

現在では、「折りのし」といって、紅白の紙を折ったものの中に、のし鮑の

代用として黄色の紙片を差込んだものが一般的に使われています。

魚介類の贈答には、生ぐさものが重なるので、のしはつけないことになっていますが、現在はあまりこだわらなくなりました。

尚、慶事以外の贈答には、のしはつけません。



水引

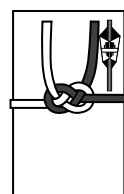
現金を包む袋や品物にかけるかけ紙には、慶弔いずれの場合も水引きを使います。水引は、こよりが変化したもので、市販の袋やかけ紙に貼りついているか印刷されています。祝儀・不祝儀袋の使い分けは主に水引によって決まります。

紅白の蝶結び



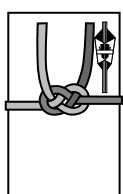
一般慶事用。結婚以外の何度あってもよい祝い事や、贈答に使います。

紅白の結び切り



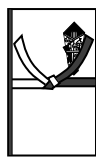
結婚祝い用。水引5本の結び切りは快気祝い用です。

金銀の結び切り



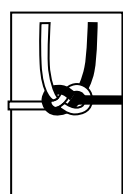
結婚祝い用。水引やのしを豪華にアレンジしたのもあります。

印刷された結び切り



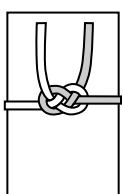
略式。結婚に関するお礼などに使います。

黒白の結び切り



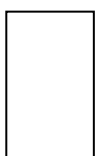
弔事用。香典や法要に使います。黒白のほか銀白や銀一色などもあります。

黄白の結び切り



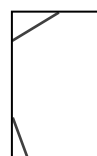
法要に使います。法要では黒が強すぎるとして黒白を避けることもあります。建墓のお祝にはこの袋を使います。表書きは「御建碑御祝」「墓碑御建立祝」と書きます。

水引、のしなし



慶弔を問わず、僧侶や神職のお礼などに使います。

水引、のしなし、赤入り



病氣見舞い、月謝などに使います。祝い事ではないが白封筒ではさびしいときに。

のしと水引の意味がわかると、それぞれの使う目的や金額に応じて祝儀・不祝儀袋を選ぶことができます。

表書きは、毛筆、または筆ペンで、慶事は濃く、弔事は悲しみの心を表すために薄く書くのが習わしです。
 不祝儀袋の御香典・ご香料の「香」は仏式だけのもので、神式あるいはキリスト教では使用しません。通夜、葬儀、告別式の時、宗派がわからない時は、御霊前と書くとういでしょう。仏式では、四十九日の法要より御仏前となります。

のし、水引の使い方は、本によって多少違いがありますが、その時になって慌てないためにも基本的なマナーは身につけておきたいですね。

町名散歩

第八回

薬院町

みなさんもまちに待った、福岡市営地下鉄七隈線が今年二月三日に開業しました。ご利用になられた方も多いと思います。西区の橋本から、中央区の天神南まで全長十二キロの全十六駅を二十四分で結んでくれるとても便利なものです。交通の利便性が高まるだけではなく新しい地下鉄の誕生で、更に天神地区をはじめ七隈線周辺地区の発展に期待が高まります。

今回紹介する薬院町にも地下鉄が開通しました。その地下鉄薬院駅のマークをご存知ですか。乳鉢と乳棒を組み合わせたデザインマークです。これらの地下鉄の駅マークは故西島伊三雄氏がデザインされました。柔らかいタッチの絵柄はとても心が和むものばかりです。



地下鉄薬院駅のマーク

そこで、地下鉄薬院駅のマークの由来について、歴史をさかのぼって調べてみました。

古くから、この地には薬草を栽培する薬

草園があり、病人に薬を与え治療をした施設薬院があったそうです。このため江戸時代には多くの医者がここ薬院に住居を構えていました。薬院という地名はここから来ているようです。地下鉄薬院駅のマークは、「乳鉢」のほかに「葉の包み紙」という案もあったそうです。地下鉄薬院駅のマークである乳鉢と乳棒は、薬草を使って薬を作る際に使われた大切な道具で、たくさんの人々の命を救ってくれた、栄光のシンボルマークだったので。

現在の薬院町は日々街並みが変わりつつあります。そんな街の一角にとっても素敵な散歩道があります。薬院四つ角から動植物園へ、静けさをたたえた、えんじゅの並木のなだらかな坂道が続く浄水通りです。並木道の両側にはお洒落なショップや個性的なギャラリーが並び、モダンな街並みがそこには広がっています。その通りには薬院緑地と名づけられた小高い緑溢れる広場もあり、都会にいながら自然を満喫できます。

そんな薬院町は、もつといるんなところを歩いて散歩したくなる魅惑いっぱいのところでした。



第3回 松ぼっくり杯ゴルフコンペ結果報告

昨年の10月26日(土)、久山カントリークラブにて松ぼっくり杯ゴルフコンペが行われました。社員を含めた5組・20名による大熱戦の結果は以下の通りとなっています。

| | | | |
|-----|-------|----------|--------|
| 優勝 | 河村 清様 | (ネット71.6 | グロス78) |
| 準優勝 | 国松 良康 | (ネット71.8 | グロス95) |

次回もたくさんのご参加お待ちしております。



呉服町ギャラリー

『春のお彼岸特別販売会』

3月17日(木)~23日(水)の7日間、特別販売会を開催致します。期間中、展示品の特別価格販売など特典多数準備しております。ご来場のお客様には、お墓参りに便利な粗品を進呈致します。是非ご来場下さい。



お墓に関することでお悩みがあれば、どのような事でも同封のハガキにてお寄せください。抽選でプレゼントをご用意させていただいております。松ぼっくりへのリクエストもお待ちしております。詳しくはハガキをご覧ください。



プレゼント当選者発表

厳正なる抽選の結果、次の方々が当選されました。たくさんのご応募ありがとうございました。

- ①商品券5,000円分
池田安久里様、岩佐道男様、松園薫様、三宅順様
- ②森修焼湯のみ
無敵真里様、他9名様
- ③お香セット
柴田輝五様、他19名様

